

研究発表Ⅱ

学 校 名：秦野高等学校 P T A

研究テーマ：『～コロナとともに 新たな PTA 活動～』

【学校紹介】

令和 8 年には、創立 100 周年を迎える本校は、『質実剛健』『文武両道』を校風としております。

そんな本校の歴史は古く、明治 19 年 5 月「三郡共立学校」として神奈川県庁の許可を得て開校しました。

大正 15 年 3 月には「組合立奈河中学校」となり、昭和 10 年 11 月には神奈川県に移管され校名を「神奈川県立秦野中学校」へと変更し、インターネットでは神奈川最古の高校とも記載されている伝統校です。

そして、令和 4 年から「STEAM 教育推進校」に指定され、伝統を重んじつつ、最先端の技術や教育方法を授業や学校生活に取り入れています。

我々 PTA も会員同士、助け合いながら、楽しみながら活動を行っております。

昨年、成人委員さんの案で、平塚の「都まんじゅう」に秦野高校の校章の焼き印を押印したおまんじゅう「秦高まんじゅう」が完成、今年はその包装紙を美術部に依頼して製作中です。

秦高饅頭 包装紙
Coming soon!!



【PTA の仕組み】

主として本部会、運営委員会、常任委員会で運営しています。その中で指名委員会、交通安全担当、環境美化担当も運営しています。

役員は、入学説明会の日に配布される用紙で参加を募り、半数以上が決定します。その後、足りない場合は、指名委員会が再び用紙を使い、交渉、すべての役員を決定します。

秦高 PTA 組織図



令和 4 年度は、通学路の安全点検を行い、通学路を共有する近隣学校や自治会と連携し、秦野市に対策の実施を依頼しました。



また、自転車屋さんにご協力いただき、生徒の自転車点検を行いました。不備がある自転車については、点検札により修理を促しています。

今月 18 日には、3 年に一度開催しているスケアードストリートに運営協力予定です。

本部役員は、『できる人ができる事をやろう!』をモットーに取り組んでいます。

【委員会活動】

① 学年委員会

毎年 2 月に行われるマラソン大会のサポートや年に 4 回行われる保護者対象の進路講演会の運営をしています。

また、今年は 5 年ぶりに開催された広陵祭に休憩所を設置、「秦高まんじゅう」と飲み物を販売しました。

休憩所では茶道部、合唱部、弦楽合奏部とコラボレーションした企画を行ったり、今年、保護者が観戦できなかった体育祭の動画を広報委員さんの協力で上映したりしました。



先生方、生徒たち、広報委員会、成人委員会、本部と、PTA や学校一丸となつての企画になりました。

② 成人委員会

成人委員会は会員同士の交流を図ることを目的として活動しています。

活動の3本柱は、観劇会、花植え、講習会です。



花植えは、お花屋さんの指導を受けながら、年に3回実施しています。校門周辺に季節ごとのきれいな草花を植え、生徒たちを出迎えています。



R4はハーバリウム講習会

R5はアロマカップ講習会を実施しました。

「秦高まんじゅう」をお土産として配布。

役員自身がまず「やってよかった PTA」をめざして楽しみながら活動しています。

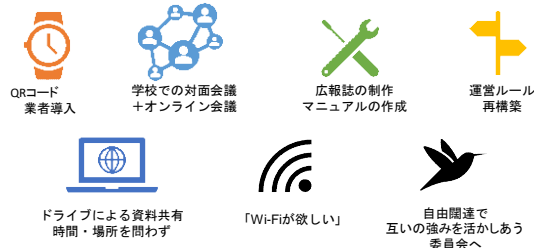
③ 広報委員会

コロナ禍で対面活動の中止が余儀なくされる中、「STEAM 教育推進校」の理念である科学やテクノロジーを駆使して、様々な問題にチャレンジしながら、広報誌を作成しています。



以前のような対面会議や、学校に集まった制作作業が制限される中で、以下のようなことを工夫しています。

チャレンジ



- ・紙面に QR コードを採用し、リアルタイムな情報に飛べる工夫
- ・積極的なオンライン会議の導入
- ・広報誌の制作マニュアルを作成
- ・運営ルールは、新たに再構築中
(ドライブを利用するうえで、ICT スキルの学び合いも自然に行われています。)
- ・最近では、PTA Wi-Fi を提案
(8月の運営委員会ですでに採択されました。)

【まとめ】

まだまだ、コロナ感染の恐れがある中、秦野高校では、それを理由に諦めるのではなく、皆で協力し合い、意見を出し合い、積極的に様々なことにチャレンジし、活動していく PTA を目指しています。